

## ファロムドライシロップ小児用 10%

### 【この薬は？】

販売名	ファロムドライシロップ小児用 10% Farom Dry Syrup for Pediatric 10%
一般名	ファロペネムナトリウム水和物 Faropenem Sodium Hydrate
含有量 (1g 中)	100.0mg (力価)

### 患者向医薬品ガイドについて

**患者向医薬品ガイド**は、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するとき特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

### 【この薬の効果は？】

- ・この薬は、ペネム系抗生物質と呼ばれる薬です。
- ・この薬は、感染症の原因となる細菌の細胞壁の合成を妨げることにより、細菌の増殖を阻止または殺菌する作用があります。
- ・次の病気の人に処方されます。

#### <適応症>

表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管・リンパ節炎、慢性膿皮症、咽頭・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、肺炎、膀胱炎、腎盂腎炎、中耳炎、副鼻腔炎、歯周組織炎、猩紅熱（しょうこうねつ）、百日咳

#### <適応菌種>

ファロペネムに感性のブドウ球菌属、レンサ球菌属、肺炎球菌、腸球菌属、モラクセラ（ブランハメラ）・カタラーリス、大腸菌、シトロバクター属、クレブシエラ属、プロテウス・ミラビリス、インフルエンザ菌、百日咳菌

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

## 【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 次の人は、この薬を使用することはできません。
  - ・過去にファロムドライシロップ小児用に含まれる成分で過敏症のあった人
- 次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。
  - ・過去にペニシリン系、セフェム系またはカルバペネム系薬剤で過敏症のあった人
  - ・本人または両親、兄弟に気管支喘息、発疹、蕁麻疹などのアレルギー症状を起しやすい体質の人がいる人
  - ・腎臓に重い障害のある人
  - ・経口による摂取ができない人または経口以外の方法で栄養を摂取している人、全身状態の悪い人
  - ・下痢症状のある人
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

## 【この薬の使い方は？】

### ●使用量および回数

飲む量は、あなたの年齢、体重や症状などにあわせて、医師が決めます。通常、小児の飲む量および回数は、次のとおりです。

一回量	体重1kgあたり5mg
飲む回数	1日3回

体重1kgあたり10mgまで増量できますが、最大使用量は1回300mg（1日900mg）までです。

### ●どのように飲むか？

飲むときに水またはぬるま湯に溶かして飲んでください。溶かした後はすぐに飲んでください。

### ●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。気がついたときに、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

### ●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

## 【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬で最もよくあらわれる副作用は下痢、軟便です。特に3歳未満の乳幼児では、3歳以上よりも下痢、軟便が多くみられます。また下痢、軟便は、この薬を飲み始めてから3日目までにみられることが多いので、患者さんや保護者の方は、

便の状態を十分に観察し、下痢、軟便があらわれた場合には、医師に連絡してください。

- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

## 副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
ショック ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失
アナフィラキシー アナフィラキシー	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸、息苦しい
急性腎障害 きゅうせいじんしょうがい	尿量が減る、むくみ、体がだるい
偽膜性大腸炎等の血便を伴う重篤な大腸炎 ぎまくせいだいちょうえんとうのけつべんをともなうじゅうとくなだいちょうえん	腹痛、血の混ざったゆるい便が出る、ゆるい便が出る、発熱、頭痛、吐き気、冷汗が出る、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、お腹が張る、激しい腹痛、下痢、嘔吐、便に血が混じる（鮮紅～赤色）
中毒性表皮壊死融解症（TEN） ちゅうどくせいひょうひえしゆうかいしょう（テン）	皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、発熱、粘膜のただれ
皮膚粘膜眼症候群（Stevens-Johnson 症候群） ひふねんまくがんしょうこうぐん（ステイーブンスージョンソンしょうこうぐん）	発熱、目の充血やただれ、唇や口内のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	咳、息切れ、息苦しい、発熱
肝機能障害 かんきのうしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、体がかゆくなる
無顆粒球症 むかりゅうきゅうしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
横紋筋融解症 おうもんきんゆうかいしょう	手足のこわばり、手足のしびれ、脱力感、筋肉の痛み、尿が赤褐色になる


同類薬（セフェム系またはカルバペネム系薬剤）であられる、特にご注意ください重大な副作用と、主な自覚症状を記載しました。この薬でもあられる可能性があります。副作用であれば、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
PIE 症候群 ピーアイイーしょうこうぐん	発熱、咳、息切れ、息苦しい

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。  
これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷汗が出る、発熱、ふらつき、突然の高熱、寒気、脱力感、むくみ、体がだるい、体がかゆくなる、疲れやすい、力が入らない
頭部	めまい、意識の消失、頭痛
顔面	顔面蒼白（そうはく）
眼	目の充血やただれ、白目が黄色くなる
口や喉	咳、吐き気、嘔吐、唇や口内のただれ、喉のかゆみ、喉の痛み
胸部	息切れ、息苦しい、動悸
腹部	腹痛、お腹が張る、激しい腹痛、食欲不振
手・足	手足が冷たくなる、手足のこわばり、手足のしびれ
皮膚	円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、粘膜のただれ、全身のかゆみ、じんま疹、皮膚が黄色くなる
筋肉	筋肉の痛み
便	血の混ざったゆるい便が出る、ゆるい便が出る、下痢、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色）
尿	尿が赤褐色になる、尿量が減る、尿の色が濃くなる

## 【この薬の形は？】

剤形	ドライシロップ剤	
性状	だいたい色の粒状 (芳香があり、味は甘い)	

## 【この薬に含まれているのは？】

有効成分	ファロペネムナトリウム水和物
添加物	精製白糖、D-マンニトール、アスパルテーム（L-フェニルアラニン化合物）、エチレンジアミン四酢酸カルシウム二ナトリウム、ヒドロキシプロピルセルロース、黄色5号、香料

## 【その他】

### ●この薬の保管方法は？

- ・光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

### ●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

## 【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。

- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：マルホ株式会社 (<https://www.maruho.co.jp>)

製品情報センター

電話：0120-45-8712

受付時間：9時30分～17時30分（土、日、祝日を除く）